

道央広域連携地域政策展開方針の推進管理について

- 1 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト
- 2 未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト
- 3 地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト
- 4 空知と多様な形で関わりを持つ人材創出プロジェクト

令和6年度
北海道空知総合振興局

日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト

【推進エリア】道央広域連携地域（空知地域・後志地域・胆振地域）

目的 空知の「石炭」、室蘭の「鉄鋼」、小樽の「港湾」、そしてこれらを繋ぐ「鉄道」を舞台に繰り広げられた北海道近代化ストーリーである「炭鉄港」が2019（令和元）年5月に日本遺産へ認定され、その活用を通じた地域活性化に期待が寄せられる中、日本遺産を構成する各文化財等を道内外の産業遺産や鉄道遺産ファンなどへPRするとともに、次世代を担う子どもたちに向けた事業を展開するなど、地域特有の資源を活かした取組を推進し、交流人口の拡大を図る。

これまでの主な取組・成果

■ 炭鉄港めしフェスタの開催 [振興局]

開催日：令和5年9月16日～17日
 場所：岩見沢駅東市民広場公園
 概要：いわみざわ情熱フェスティバルにおいて炭鉄港めしブースを開設し、5店舗が出店。



■ ANA公式サイトにおける日本遺産「炭鉄港」PRページの公開 [振興局]

概要：ANA SKY WEB内に、炭鉄港の魅力を発信する専用ページ『日本遺産 炭鉄港 “つながる”ストーリー 近代北海道の原点を発見～歴史と炭鉄港めしをめぐる旅へ～』を公開。(R5.12月～)



■ 日本遺産「炭鉄港」構成文化財に係る看板の設置 [炭鉄港推進協議会]

概要：各文化財の歴史等をわかりやすく説明した、案内板（共通サイン）を製作。「共通サイン」は設置場所に合わせて、自立する「バス停型」もしくは壁などに架ける「プレート型」のどちらかを設置。(R6.4月～)



▲プレート型

◀バス停型

■ 炭鉄港関連施設のかつての姿を復元するARコンテンツの制作 [炭鉄港推進協議会]

概要：炭鉄港の施設をスマートフォンを通して、擬似的に復元した状態を表示するAR復元スポット（北炭赤間炭鉱選工場、北炭ローダー、いぶり丸）を設置。(R6.2月～) 日本語や英語による施設の解説音声の再生、復元した画像の保存が可能。



(現地)

(AR)

評価指標 (KPI)

基準値(基準年)

実績値(実績年)

目標値(目標年)

進捗率

炭鉄港推進協議会構成市町の観光入込客数

7,250千人(R2)

集計中(R5)

7,468千人(R7)

—

R6年度の主な取組

- インバウンド向けサイクルツアーの整備 [炭鉄港推進協議会]
- 日本遺産認定5周年フォーラム [振興局]
- 食関連イベントでの炭鉄港めしブースの開設 [振興局]

未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト

【推進エリア】空知地域

目的 管内産業の持続的な発展に向けて、基幹産業である農業分野などで、「北海道Society5.0推進計画」に示されるICT等の先進技術の導入を積極的に進め、生産性向上や担い手の育成・確保を図るほか、空知産農産物のブランド化を推進していく。併せて、地域特性を活かした企業・研究機関等の誘致促進やものづくり産業人材の確保・定着を進めながら、さらなる産業の振興に取り組む。

これまでの主な取組・成果

■ ICTの活用に向けた実証実験などによるスマート農業の普及・促進 [振興局・市町]

開催日：令和5年11月15日

場 所：岩見沢市

概 要：「中山間地におけるスマート農業への挑戦」をテーマに、基調講演やパネルディスカッションを実施。

企業によるスマート農業の機材展示、拓殖大学北海道短期大学による水管理システム paddy watchと、センサーごとのNDVI精度についてご紹介



▲ 空知スマート
アグリシンポジウム2023

■ 北海道四季マルシェにおける空知フェアの開催 [振興局・市町]

開催日：夏 令和5年 7月7日～13日

冬 令和5年10月6日～19日

場 所：札幌駅構内 北海道四季マルシェ

概 要：JR北海道フレッシュキヨスク（株）、（有）水戸青果の協力の下、付加価値向上と販路拡大に向け、夏（1市）と秋（10市町）に空知管内農産物等の販売



■ 空知「食」と「ワイン」のブランド化強化事業 [振興局]

開催日：令和5年11月16日

場 所：岩見沢平安閣

概 要：商品の販路拡大及び新商品開発・磨き上げを目的に、食品関連事業者（一次産業者を含む）と食の専門家・バイヤーとの個別相談会・商談会



▲ 食のブランド・
ステップアップ相談会

■ 空知製造業成長支援・産業集積促進事業 [振興局]

概 要：空知管内への投資のための地域情報や取引拡大のための企業情報を取りまとめた「北海道そらちビジネスガイドブック」を作成(R5.10月)



評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
空知の耕作面積の維持	113,600ha (R2)	113,500ha (R5)	113,600ha (R7)	99.9%
新規高卒者管内企業就職率	60.9% (R2)	52.0% (R5)	63.9% (R6)	81.4%

R6年度の主な取組

- カーボンクレジットを通じた環境負荷軽減など新たな農業モデルの普及・促進 [振興局]
- 取引拡大に繋げるため、管内生産現場へのバイヤー招へいの実施 [振興局]
- 関係団体や地域おこし協力隊と連携し、良質な農産物を活用した新商品開発、ブランド化の推進 [市町]

地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト

【推進エリア】空知地域

目的 空知地域は、日本遺産「炭鉄港」をはじめ、ワインや日本酒、花など空知ならではの地域資源を有し、近年では、美しい田園風景を活かしたサイクルツーリズムなども実施されている。こうした地域資源を引き続き活用して、魅力の積極的な発信や食と観光の振興を図り、北海道ブランドの強化や国内外との人と物の流れの創出を推進する。

これまでの主な取組・成果

- ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」及びSNSを活用した情報発信 [振興局・市町]

概要: 「そらち・デ・ビュー」やSNSにより、空知の様々な情報や魅力を発信し、新たな空知ファンの獲得に向けたSNS上のキャンペーンを展開。
ウェブサイトのPV数: 約46万回 (R5年度)



- そらち応援大使（鈴木貴之氏）やそらち食の応援アンバサダー（佐藤麻美氏）と連携し、空知の魅力を紹介するプロモーション [振興局・市町]

開催日: 令和5年9月23日(土)

概要: そらち応援大使やそらち食の応援アンバサダーがMCとなり、YouTubeによるLIVE配信により、観光施設のリポート VTRや、スイーツ試食コーナー、クイズ等を交えて空知の魅力を紹介。

ライブ配信視聴数: 1,782回、累計視聴数: 5290回



- そらちエゾシカフェア2023 [振興局・市町]

開催日: 令和5年11月1日~23日

場所: 空知管内の飲食店24店舗

概要: エゾシカ肉料理特別メニューを提供するとともに、フェア参加店を巡るスタンプラリーを開催し、空知のエゾシカ肉の美味しさをPRするとともに誘客促進を図った



- ポータルサイト「そらち・de・キャンプ」を開設 [振興局]

概要: 空知管内のキャンプ場の情報を掲載したポータルサイトを令和5年7月に開設。立ち寄りスポットも掲載するなど、管内へのマイクロツーリズムの一層の促進を図った。



評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数	6,522人 (R2)	20,120人 (R5)	14,500人 (R7)	138.8%
管内への観光入込客数	1,232万人 (R1)	集計中 (R5)	1,278万人 (R6)	—
移住相談件数	574件 (R2)	集計中 (R5)	687件 (R7)	—

R6年度の主な取組

- 空知管内への移住促進に向けて、ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」において移住者ロールモデルの紹介 [北海道空知地域創生協議会]
- 魅力ある地域資源を活かしたアクティビティを通じて子どもたちのゼロカーボンへの理解を深めるキャンプ(合宿)プログラムの開催 [振興局、市町]
- 旅行会社やメディア招へいの上、管内AIコンテンツを視察することで旅行商品の造成を促す [振興局]

空知と多様な形で関わりを持つ人材創出プロジェクト

【推進エリア】空知地域

目的

道内の中でも、特に厳しい人口減少が続く空知地域において、将来にわたって住み続けられるよう、オール空知の連携を深めながら、地域医療や福祉の充実、生活交通の維持・確保をはじめとした安心で住み良い暮らしの形成や新規高卒者の地元就職などの雇用対策を進めるほか、管内自治体・民間企業と連携し、地域住民のシビックプライド醸成を図りながら次世代リーダーを育成するとともに、地域の「しごと」「住まい」「暮らし」に関する一体的な情報発信などによる移住・定住対策や、ワーケーションなど多様で柔軟な働き方の受入体制の確保など、関係人口の創出・拡大を図る。

これまでの主な取組・成果

■ 地元就職応援フェア [振興局]

○ 地元企業合同説明会

開催日：令和5年6月20日

場所：砂川市地域交流センターゆう

概要：管内高校生と進路指導担当教諭を対象に、説明会を実施。地元企業のPR機会とし、職場定着と早期離職の防止を図った。



○ 空知地域企業見学バスツアー

開催日：令和5年11月28日・30日

令和5年12月5日・7日

場所：管内に事業所を有する各企業の就労現場等

概要：仕事のミスマッチを防止するため、高校生、進路指導担当教諭を対象に実施。企業・業種に対する理解を深め、就職後の職場定着の促進を図った。



■ 関係人口の拡大に向けた情報発信

概要：ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」や振興局HPにおいて、空知への移住者への取材内容をまとめた「空知移住者インタビュー」記事を掲載。



■ ICTを活用した地域交通セミナーの開催 [振興局]

開催日：令和6年3月7日

場所：岩見沢市内

概要：空知管内の路線の維持・確保を図るため、ICTの活用に関する勉強会を開催。AIを活用したデマンド交通や行政・医療MaaSの導入事例を紹介。



評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
新規高卒者管内企業就職率 (再掲)	60.9% (R2)	52.0% (R5)	63.9% (R6)	81.4%
移住相談件数 (再掲)	574件 (R2)	集計中 (R5)	687件 (R7)	—
認定こども園設置数	20カ所 (R2)	20カ所 (R5)	22カ所 (R7)	90.9%

R6年度の主な取組

- ICTを活用した地域交通セミナーの開催やバス運転体験・就職相談の開催 [振興局]
- 移住定住情報の発信や移住フェアによるPR [市町]
- 子育て関連支援センター事業の実施や病児保育施設の設置 [市町]

評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
日本遺産「炭鉄港」 を活用した交流人口 拡大プロジェクト	炭鉄港推進協議会構成市町の観光入 込客数	7,250千人 (R2)	7,487千人	10,530千人	集計中			7,468千人 (R7)	—
未来技術の導入など による産業振興・担 い手確保プロジェク ト	空知の耕作面積の維持	113,600ha (R2)	113,600ha	113,500ha	113,500ha			113,600ha (R7)	99.9%
	新規高卒者管内企業就職率	60.9% (R2)	59.5%	60.3%	52.0%			63.9% (R6)	81.4%
地域の歴史や資源を 活かした空知の魅力 発信プロジェクト	「そらち・デ・ビュー」公式SNSの フォロワー数	6,522人 (R2)	10,101人	14,221人	20,120人			14,500人 (R7)	138.8%
	管内への観光入込客数	1,232万人 (R1)	852万人	1,159.6万人	集計中			1,278万人 (R6)	—
	移住相談件数	574件 (R2)	777件	821件	集計中			687件 (R7)	—
空知と多様な形で関 わりを持つ人材創出 プロジェクト	新規高卒者管内企業就職率 (再掲)	60.9% (R2)	59.5%	60.3%	52.0%			63.9% (R6)	81.4%
	移住相談件数（再掲）	574件 (R2)	777件	821件	集計中			687件 (R7)	—
	認定こども園設置数	20カ所 (R2)	20カ所	20カ所	20カ所			22カ所 (R7)	90.9%

評価指標（KPI）一覧

分析・対応方向

- ・ 9つの評価指標のうち、3つの評価指標が進捗率90%を超えている。
- ・ 空知の耕作面積は、省力化技術の活用などスマート農業の推進により、微減に留まっている。
- ・ 新規高卒者管内企業就職率は、昨年比べて8.3%低下しており、今後も推移を注視する必要がある。
- ・ 「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数は、基準値（6,522人、R2）に比べ、3倍程度まで大幅に伸びており、政策効果の発現が見られる。
- ・ 認定こども園設置数は、現状維持となった。
- ・ 移住相談件数についてはオンライン相談の強化により増加傾向となっている。

- ・ 現在、次期「道央広域連携地域政策展開方針」の見直しを進めているところであり、今後、市町や関係機関の皆さまのご意見をいただきながら、策定作業を進めていく。

R 6 年度における空知総合振興局の主な取組（地域政策推進事業・地域共創推進事業）①

事業名	概要	主な関連プロジェクト(※)
日本遺産「炭鉄港」広域連携推進事業	日本遺産に認定された「炭鉄港」に対する理解や関心を高め、道内外からの交流人口の拡大を図るため、空知・後志・胆振の3地域が連携し、人材育成・普及啓発・情報発信などの取組を総合的に推進する。	①
日本遺産「炭鉄港」食文化普及啓発事業	日本遺産「炭鉄港」に対する理解や関心を高め、より多くの人たちにファンになってもらうことを目的として、各地で働いた労働者に愛され、栄養源として労働者を支えた「炭鉄港めし」を体験できるイベントを開催し、普及啓発・情報発信に繋げる。	①
北海道空知魅力発信事業	「空知」ならではの観光・物産やライフスタイル、生活環境などに関する情報を総合的に発信し、空知地域に対する関心や理解度の向上、首都圏等での知名度向上を図り、人とモノの流れの創出を目指す。	③④
空知地域バス運転手確保・ICT利活用推進事業	管内のバス事業者においては、利用者減少や運転手不足に伴う減便が相次いでいることから、輸送資源の効率化や人材確保を目的に運転手確保に向けた体験会やICTの利活用に資する勉強会を開催し、持続可能な交通体系の構築を推進する。	④
目指せ「空知人」！地域おこし協力隊活動応援事業	空知管内で活動する地域おこし協力隊員が市町村の枠を超えて他の隊員と交流・連携する機会を設け、実践的な課題解決力の習得を後押しすることにより活動の幅を広げ、地域を支える人として定着を図る。	④
空知スマート農業推進・人材力強化事業	空知管内の基幹産業である「農業」において、人口減少に伴う労働力不足や農業機械によるCO2排出量の削減に対応していくため、Society5.0を実現する未来技術の活用促進及び人材育成・定着を推進し、空知農業の持続的発展を図るとともに、管内の地域活性化及びゼロカーボン空知に寄与する。	②

※空知地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活かした交流人口拡大プロジェクト	② 未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト
③ 地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト	④ 空知と多様な形で関わりを持つ人材創出プロジェクト

R 6 年度における空知総合振興局の主な取組（地域政策推進事業・地域共創推進事業）②

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
空知地域産業人材確保対策事業	合同企業説明会等の実施により、新規学卒者など若者の人材確保・定着に取り組む。	②
空知「食」と「ワイン」のブランド強化事業	食やワインのブランド化や産地づくりを推進し、空知の主要な産業である食産業の振興を図る。	②
空知アドベンチャートラベル推進事業	空知管内の多様な食、観光資源の魅力をアドベンチャートラベルを切り口に情報発信し、マイクロツーリズムを一層推進する。	③
空知製造業成長支援・産業集積促進事業	ビジネス展示会への出展などの取組により、管内企業の魅力や管内の立地環境の情報を発信し、空知管内の製造業の取引拡大を支援するとともに、さらなる企業誘致を促進する。	②

※空知地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活かした交流人口拡大プロジェクト	② 未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト
③ 地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト	④ 空知と多様な形で関わりを持つ人材創出プロジェクト